



## 2 主な調査結果

### (1) 投与の年月について回答があった医療機関数と元患者数

医療機関数 876施設  
元患者数 12,745人 (投与年別は別表)

### (2) 上記以外に、過去に投与の事実をお知らせしたという記録が残されているが、現在では投与の年月は特定できないとする回答があった医療機関数と元患者数

医療機関数 87施設  
元患者数 274人

### (3) (1)と(2)の合計

医療機関数 947施設(※2)  
元患者数 13,019人

(※2) 厚生労働省ホームページ「C型肝炎ウイルス検査受診の呼びかけ(フィブリノゲン製剤納入先医療機関名の再公表について)」の公表医療機関等リスト上の該当医療機関の「備考」欄に、「フィブリノゲン製剤を投与されたことが判明した元患者の方がいるとの報告あり。」と記載した。

### (4) 元患者の方への投与の事実のお知らせの状況

		元患者数
お知らせした		7,399人 (57%) (※3)
お知らせしていない		5,620人 (43%)
理由	投与後に原疾患等により死亡	1,889人 (15%)
	連絡先が不明又は連絡がつかない	2,204人 (17%)
	肝炎ウイルス検査の結果が陰性	417人 (3%)
	今後お知らせする予定である	169人 (1%)
	その他(未記入含む)	941人 (7%)
合計		13,019人

(※3) 元患者の方に一人でも投与の事実をお知らせした医療機関は781施設であった。

(5) 診療録等の保管状況

平成6年以前の診療録等が次のいずれかにより保管されている施設数  
(括弧内は調査対象施設数に対する割合)

	2,030施設 (31%) (※4)
(内訳) (※5)	
診療録 (カルテ)	1,509施設 (23%)
手術記録あるいは分娩記録	1,581施設 (24%)
製剤使用簿	136施設 (2%)
処方箋	139施設 (2%)
輸液箋あるいは注射指示箋	271施設 (4%)
レセプトの写し	78施設 (1%)
入院サマリーあるいは退院サマリー	281施設 (4%)
その他の書類	285施設 (4%)

(※4) 平成16年の調査では「昭和63年6月30日以前にフィブリノゲン製剤を投与した記録 (診療録、使用簿など) が保管されていますか。」との設問であったのに対し、今回の調査では、「平成6年以前のカルテ等の各種書類が保管されていますか。」との設問であったため、保管していると回答した施設の割合が異なったものと思われる。

(※5) 厚生労働省ホームページ「C型肝炎ウイルス検査受診の呼びかけ (フィブリノゲン製剤納入先医療機関名の再公表について)」の公表医療機関等リスト上の「カルテ等の有無」欄に、平成6年以前のカルテ等の記録が一部でも保管されている場合、△印を付していたが、さらに保管されている記録の保管期間、保管状況等を記載した。

(別表)

投与の年月について回答があった元患者数の投与年別の内訳

投与年	人数
昭和39年	0人
40年	6人
41年	8人
42年	12人
43年	15人
44年	18人
45年	19人
46年	22人
47年	23人
48年	33人
49年	41人
50年	45人
51年	61人
52年	75人
53年	108人
54年	184人
55年	287人
56年	333人
57年	462人
58年	826人
59年	1,319人
60年	1,644人
61年	2,319人
62年	2,800人
63年	1,641人
平成 元年	181人
2年	110人
3年	81人
4年	36人
5年	25人
6年	11人
計	12,745人